

八尾市

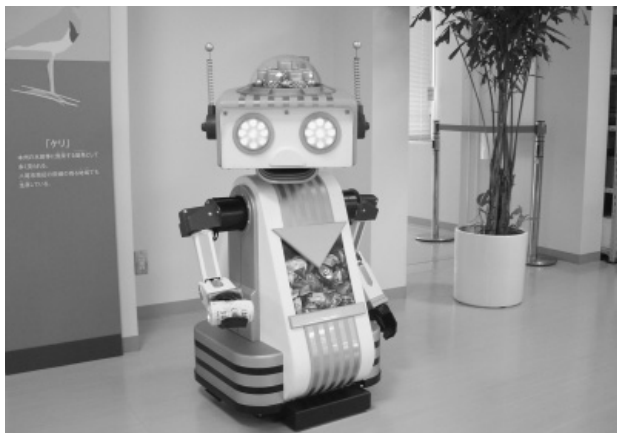
循環型社会の形成に向けて
八尾市立リサイクルセンター学習プラザ「めぐる」

はじめに

八尾市立リサイクルセンターに、3Rについて目で見て、触れて学ぶことができる学習プラザ「めぐる」が併設され、5月1日に開館しました。

学習プラザは、ごみの発生抑制・再使用・再生利用についての啓発や環境学習・体験学習を通じ、市民の皆さんの主体的な参加と協働によって、循環型社会を目指す拠点となる環境学習施設です。会話や缶の分別ができる「環境ロボット」の出迎えもあり、社会見学の小学生をはじめとする来館者で賑わっています。

また、愛称「めぐる」は市民の応募作品の中から選ばれたもので、「色々な資源が巡り活かされる」との願いが込められています。



ごみ減量への取組

八尾市は、自前の焼却工場を持たないため、早くからごみ減量取組の必要性に迫られ、昭和55年に再生资源の活用によるごみの減量を図るため有価物集団回収奨励金制度を実施。昭和59年にはごみの中から資源を選別するためのリサイクルプラザを設置し、アルミ缶・スチール缶・びんなどの資源化に努めてきました。

また平成8年には、全市民の協力のもと指定袋による5種分別収集を開始し、資源化の推進とより一層のごみの減量化に取組み、成果をあげています。

施設の老朽化と建替え

一方、ごみの適正処理と資源化に大きな役割を果たしてきた施設の老朽化への対応と、循環型社会を形成していくための多種分別への取組が必要となりました。

このことから、本市の廃棄物処理基本計画において、老朽化施設の機能更新にとどまることなく、3R推進のための教育、学習、普及、啓発機能を併せもつ情報発信基地・環境学習拠点として整備することとし、国庫補助事業として建て替えを進め、平成21年3月にリサイクルセンターに併設して学習プラザが竣工しました。

学習プラザ「めぐる」の機能

学習プラザは、ごみの3R推進と適正処理の中心的役割を持つリサイクルセンターに併設されています。展示は施設紹介だけでなく、市内に生息する鳥をモチーフに、「興味をもつ」「情報を交換する」「気



「学ぶ・知る」「行動する」の5つのコーナーを設定し、模型展示による導入エリアから、エコアイテムやエコアートの展示、くらしの中で生かせるエコロジー意識を啓発するコーナーなどを設置。触れて体験できるパソコンコーナー、ゲームコーナー、工房、目で見て学ぶ工場見学コースの設定など、子どもから高齢者までどなたでも楽しく遊んで学べる工夫がされています。

また、リサイクル講座や研修のための会議室、イベントのスペースなども用意されています。

そのほか、整備にあたり、環境学習の一環として、20 Kw規模の太陽光発電や風力発電といった省エネルギー設備の設置や、屋上・壁面緑化の実施など積極的に環境への配慮をアピールした施設となっています。



新たな施策展開

本市では、リサイクルセンターの完成により、容器包装リサイクル法の枠組みに沿った取組を進めるため、これまでの5種分別から、本年10月より容器包装プラスチックの収集など、8種分別収集へ移行することとしています。

また、3R推進の情報発信・啓発の推進拠点となる学習プラザ「めぐる」では、情報収集や提供などにとどまることなく、環境ボランティアや関係団体の自主的な活動の促進や交流・支援事業の展開を予定しており、管理運営についても当面は直営で行うものの、市民との協働を図り、市民の立場に立った発想で管理運営ができるように、環境NPO等の育成を図りながら指定管理者制度の導入を進めていきたいと考えています。

学習プラザ「めぐる」が市民に愛され親しまれる取組を通じ、資源循環型社会の実現に寄与できることを願っています。

名 称：八尾市立リサイクルセンター
学習プラザ「めぐる」

所 在 地：581-0026

八尾市曙町二丁目11番地

休 館 日：水曜日及び年末年始

開館時間：午前9時から午後5時

電 話：072-994-0564